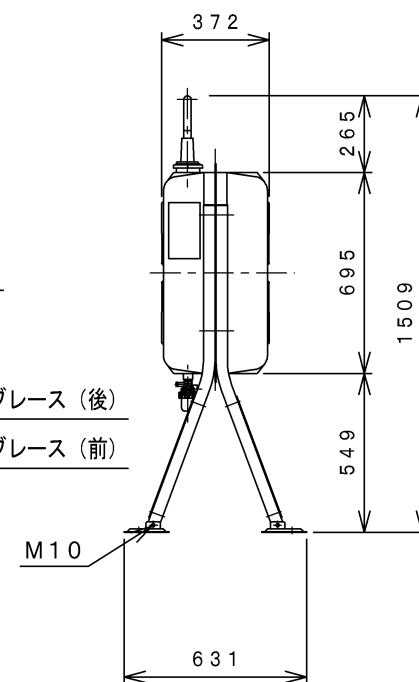
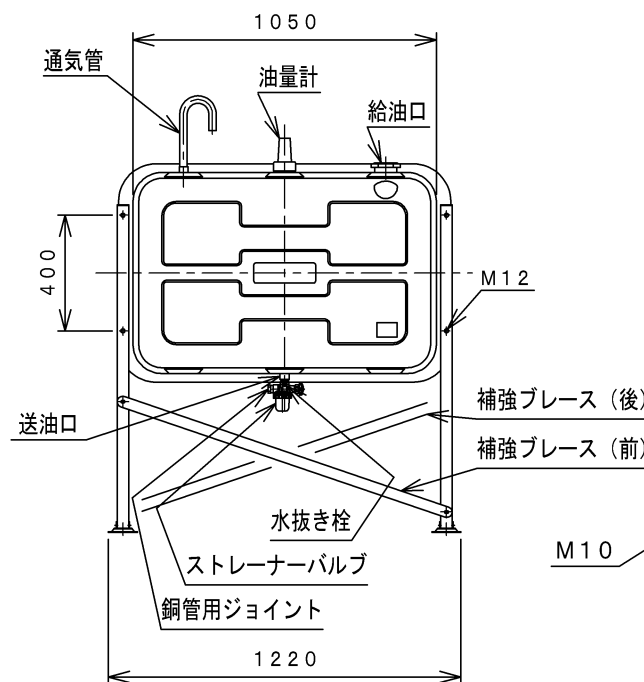
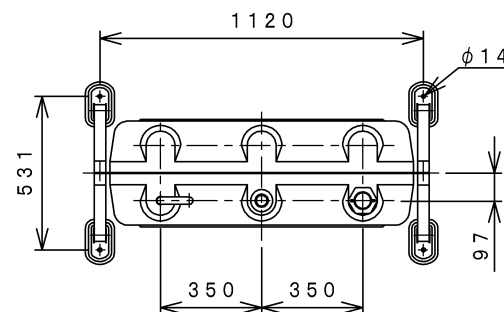


サンダイヤ オイルタンク 仕様書

型 式		分 類 記 号
K S 3 - 2 5 0		S J 1
仕 様 明 細 書		
容 積	2 4 9 リットル	
容 器	2 2 4 リットル	
使 用 燃 料	灯 油	
種 類	据置式（脚部固定）・屋外用	
本体材質、板厚	溶融亜鉛メッキ鋼板、1.6mm	
脚材質、板厚	STKM、□40×1.6mm	
補強材質、板厚	溶融亜鉛メッキ鋼板、3.2mm	
溶 接	シーム溶接、CO ₂ アーク溶接	
塗 装	ポリエステル樹脂静電粉体塗装	
検 査	本体密閉後、49kPaの空気圧による全数検査	
包 装	PEシート、エアキャップ	
油 量 計	無指向性フロート上下表示式	
給 油 口	φ60mm	
通 気 管	φ25.4、40メッシュ金網付	
送 油 口	Rc3/4 めねじ	
	ストレーナバルブ（R3/4×Rc1/2）	
	φ8鋼管用ジョイント付	
塗 装 色	本体・脚（ライトベージュ21）	
完 成 重 量	約46kg	
耐 震 設 計 条 件	「局部震度法」により、以下の条件以内でご使用ください。 （建築設備耐震設計・施工指針2014） $K_h = K_0 \cdot K_1 \cdot Z \cdot \beta \cdot I = 1.95$ 以下としてください。 床に作用する水平震度、 K_0 =通常は1.0（0.8～1.0） 建物の床応答倍率、（地上又は1階） K_1 =通常は1.0 地域係数、 Z =通常は1.0（0.7～1.0） 本図オイルタンクの応答倍率、 $\beta = 1.4$ 用途係数、 I =通常は1.0（0.7～1.5） W =通常は225kg（タンク+灯油質量） あと施工接着式M10埋込長さ80mm以上、 基礎コンクリート設計強度1.8kN/cm ² 以上。	
設計水平震度		
K0		
K1		
Z		
β		
I		
耐震設計質量		
基礎・ボルト		
耐 震 性	1G対応。以下の通り1G（980ガル）相当以上の試験に対応しています。 神戸海洋気象台観測波（1995.1.17）の 120%条件にて三軸加振の耐震性確認。 最大合成速度：135（カイン）（1成分で108） 最大合成加速度：1450（ガル）（1成分で1300）	

注）タンクの設置については、据付説明書をご覧のうえ正しく設置してください。

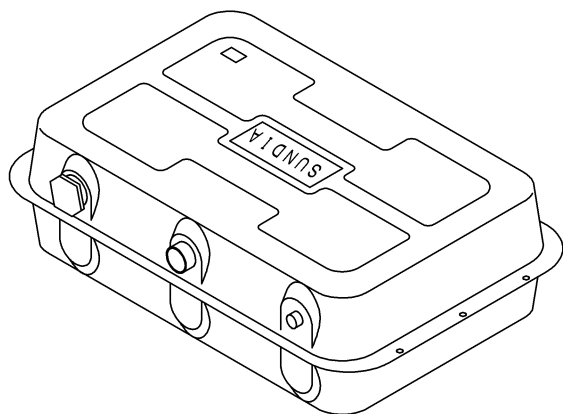


オイルタンク部品一覧図

型 式	分 類 記 号
KS3-250	SJ1

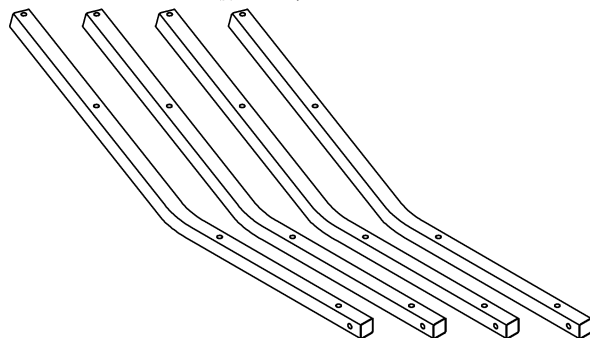
別梱包品

タンク本体 1個



別梱包品

脚 4本

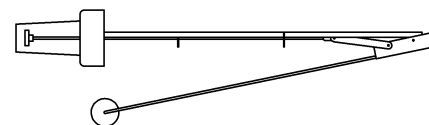


補強プレート 2枚 (全長1232mm)



部品箱梱包品

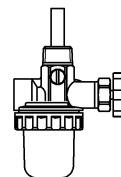
油量計 1個



通気管 1個



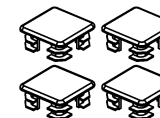
ストレーナバルブ 1個



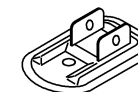
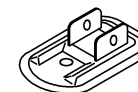
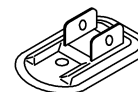
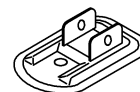
ジョイント 1個



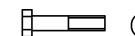
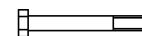
脚キャップ 4個



脚プレート 4個



ボルト・ナットセット



M12×110 4セット

M10×65 8セット